

# 工業部会長報告

1. 会議名 第2回部会総会
2. 日時 2022年11月14日（月）16：00～17：30
3. 場所 ホール80
4. 出席者 28名（部会員20名、他部会員8名）
5. 懇談 【第21回ものづくり技術連携交流会】
  - (1) (株)Local Power 代表取締役 寺田耕也 氏
  - (2) (株)ケーエンジニアリング 代表取締役 金野正史 氏
6. 協議 **任満了に伴う正副部会長の選任について**
  - **石郷岡誠氏（有限会社佐々木製作所／代表取締役）を部会長に新任したほか、13名の副部会長を選任した。**

## 【企業概要】

- ・ 2013年設立の**アイポッシュ等の製造・販売を主業とする化学製品製造業。**
- ・ 地方の「人材」「技術」「サービス」を発信するため事業の多角化を図り、業績を伸ばしている。



## 【3つの事業】

- ・ **「Product事業」「sharing事業」「DX事業」を展開し、地方の資源を活かした製品・サービスで国内外の市場に訴求している。**

Product 事業	Sharing 事業	DX 事業
地方から世界を変える 製品を生み出す	地方の資源を 活用する	地方をより豊かにする サービスを提供する
除菌消臭水「iPOSH」 アルカリ電解洗浄水「iWASH」 薬用スキンミルク「Pharmal」	シェア体育館 シェアキッチン シェアキャンピングカー	DXソリューション (RPA/kintone/freee/ジョブカン) デジタルマーケティング

### 【iPOSHの製造】

- ・ 主力商品「iPOSH」は、地方発の特許技術とチームでコロナ禍における社会課題の解決に貢献。
- ・ 父が取得した**特許技術を県内企業との連携によってブラッシュアップし製品化**。量産製造はTDKの元協力会社に依頼し、生産拡大期においても安定的な製造を達成した。
- ・ **開発、製造、物流、販売の各部門で地元企業と連携したことで、事業を拡大し、現在では全国約15,000店舗での取扱いにまで拡大した。**
- ・ iPOSHは事業の一つであり、今後も**地方のポテンシャルを最大化して価値を生み出し事業拡大を図る。**



## 【企業概要】

- ・ 2009年設立の回路設計を主業とする測定器開発製造業。
- ・ 回路設計など装置の受託開発のほか、測定器を自社開発している。



## 【周波数分析の研究】

- ・ IoT市場の活発化による工場の自動化が予測され、装置の状態データの取得や不具合を検出する電気計測器へのニーズの高まりが今後見込まれる。この需要を獲得するため、**「FFTアナライザ（周波数分析装置※）」**の研究を行っている。

※FFTアナライザとは、装置の異常検出、製品の良否判定、装置の予防保全など活用の幅は広いものの、既存品は取扱難や高価である点などを理由に製造現場への導入は限定的となっている。

## 【自社商品の開発】

- ・ 研究成果として、**業界初となる高速分析かつ低価格で操作がしやすい組込用のFFTアナライザ「シンプルFFTコンパレータ」を開発した。**
- ・ 本製品は、設備の点検・保守管理、工場のIoT化に使われる電気計測器となり、以下のような用途に使用が可能となっている。
  - (用途例) ■ 工作機の刃物摩耗検出や使用時間の監視
  - モーター検査やベアリングチェッカー
  - 周波数分析出力による機械制御 など
- ・ **県内での採用事例もあり、今後、改良を重ね受注拡大を図る。**

